

バリデーション審査結果等の概要

平成 22 年 3 月 29 日
気候変動対策認証センター

(1) プロジェクトの概要

プロジェクト名	当別ふれあいバスによる廃食用油由来バイオディーゼル燃料活用プロジェクト						
申請受理日	2009年11月20日						
プロジェクト代表事業者	当別町地域公共交通活性化協議会						
プロジェクト事業者	(有) 下段モータース						
プロジェクト参加者	(株)エコノス						
オフセット・クレジット (J-VER) 取得予定者	(株)エコノス						
プロジェクト概要	当別町において平成 19 年度より、当初コミュニティバスの燃料として使用していた軽油に代替し、当別町内企業、飲食店、一般住民から回収した廃食用油を原料としたバイオディーゼル燃料を使用した運行を実施することによって、計画的に CO2 削減を行うものである。						
プロジェクト期間	2006年10月1日～2013年3月31日						
クレジット期間	2009年7月1日～2013年3月31日						
想定削減量	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
	t-CO2	—	49	59	59	59	226
ポジティブリスト	No. E. 004						
方法論	JEAM 004 (廃食用油由来のバイオディーゼル燃料の車両における利用に関する方法論)						

(2) 審査結果

※審査内容におけるアルファベットは申請書、ローマ数字はモニタリングプランにおけるセクションをしている。

審査内容	バリデーションチームの審査結果
プロジェクト情報 (A・B)	申請書、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に電話によるインタビューを行った結果、当プロジェクトの申請書におけるプロジェクト情報が重要性の点から適正に表示されており、オフセット・クレジット (J-VER) 制度に依拠して作成されていることを確認した。
適格性要件 (C)	申請書、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に電話によるインタビューを行った結果、当プロジェクトの申請書における方法論 JAM004 の適用は実施規則及びポジティブリスト E004 に準拠しており、適格性要件を満たしていることを確認した。現地における実査を踏まえていないため、デスクレビュー及びインタビ

	<p>ユーによって判明した範囲において、重要性の点から適正に表示されており、オフセット・クレジット（J-VER）制度に依拠して作成されていることを確認した。</p>
<p>排出量・吸収量算定（I・II）</p>	<p>モニタリングプラン、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に電話によるインタビューを行った結果、当プロジェクトのモニタリングプランにおける排出量算定は、方法論 JEAM004 及びモニタリング方法ガイドラインに準拠していることを確認した。なお、現地における実査を踏まえていないものの、デスクレビュー及びインタビューによって判明した範囲において、重要性の点から適正に表示されており、オフセット・クレジット（J-VER）制度に依拠して作成されていることを確認した。</p>
<p>モニタリング計画（III～VI）</p>	<p>モニタリングプラン、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に電話によるインタビューを行った結果、当プロジェクトのモニタリングプランにおけるモニタリング計画は、方法論 JEAM004 及びモニタリング方法ガイドラインに準拠していることを確認した。現地における実査を踏まえていないものの、デスクレビュー及びインタビューによって判明した範囲によって、重要性の点から適正に表示されており、オフセット・クレジット（J-VER）制度に依拠して作成されていることを確認した。</p>
<p>その他の論点</p>	<p>申請書、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に電話によるインタビューを行い、関連する許認可及び関連法令等の遵守状況を確認した結果、現地における実査を踏まえていないため、デスクレビュー及びインタビューによって判明した範囲において、当プロジェクトの申請書におけるその他事項において重要性の点から適正に表示されており、オフセット・クレジット（J-VER）制度に依拠して作成されていることを確認した。</p>
<p>認証運営委員会への推奨</p>	<p>オフセット・クレジット（J-VER）制度実施規則に基づいて実施された当バリデーシヨンの範囲で、バリデーシヨンプロセス及び手順を進めた結果、本プロジェクトは、ポジティブリスト No.E004 の適格性基準を満たし、方法論 JEAM004 に照らした算定式が設定されており、適格性基準に整合していることが確認された。また、排出削減・吸収量の計算方法、モニタリング方法等については、方法論に則って作成されており、ルールへの準拠性が確認された。</p> <p>現地における実査を踏まえていないものの、デスクレビュー及びインタビューにおいて判明した範囲において、本プロジェクトが、オフセット・クレジット（J-VER）制度に依拠して作成されていることを確認し、本プロジェクトに対しオフセット・クレジット（J-VER）認証運営委員会による登録を行うことを推奨する。</p>

(3) パブリックコメントの概要

該当箇所	ご意見
	意見募集期間中にいただいたご意見はなかった。

(4) 認証運営委員会の結果

第12回オフセット・クレジット（J-VER）認証運営委員会（平成22年3月29日）においてプロジェクト登録が承認された。